

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 24日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者

住 所 : 静岡県榛原郡吉田町川尻3583番地の5

氏 名 : AGCテクノグラス株式会社 本社工場

取締役社長 山川 博

電話番号 0548-32-1211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	AGCテクノグラス株式会社 本社工場
事業場の所在地	静岡県榛原郡吉田町川尻3583番地の5
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	窯業・土石製品製造業 ガラス・同製品製造業 ガラス製加工素材製造業 [2113]
②事業の規模	33,066百万円
③従業員数	400名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1. 参照

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙2. 参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和 3年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3. 参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 1. 社内掲示、3R推進月間を通じた啓発活動【全般】 2. 分別強化での有価化推進【廃プラスチック類】 3. リサイクルステーションの分別状況評価による分別、特に有価品分別強化指摘【廃プラ、有価品】 4. 汚泥の発生元である研磨スラリーの延命化による発生抑制 5. 木製パレットの再使用 (他社へ売却)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3. 参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 1. 社内掲示、3R推進月間を通じた啓発活動【全般】 2. 分別強化での有価化推進【廃プラスチック類、他】 3. リサイクルステーションの分別状況評価による分別、特に有価品分別強化指摘【廃プラ、有価品】 4. プラスチック品の小ロット単位販売による検査抜取ロットの製品化		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 収集・回収場所での分別指摘対応 2. 写真などを用いた分別簡易表示 3. 有価化可能な不要物の分別の周知【プラスチック】
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 社内掲示強化による異物混入防止 2. 分別教育の動画化

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3. 参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
1. 最終処分が再生利用である業者の選定 【全廃棄物】 2. 近隣で処分可能な業者を選定し費用削減 【全廃棄物】			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3. 参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 1. コンプライアンスを重視しエコアクション21取得企業や優良認定企業を活用【全廃棄物】 2. 最終処分が埋立処分の廃棄物を再生利用業者への転換【ガラス屑】 3. EDIシステムを通じた適正処分の確認【全廃棄物】		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 24日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者

住 所 : 静岡県榛原郡吉田町川尻3583番地の5

氏 名 : AGCテクノグラス株式会社 本社工場

取締役社長 山川 博

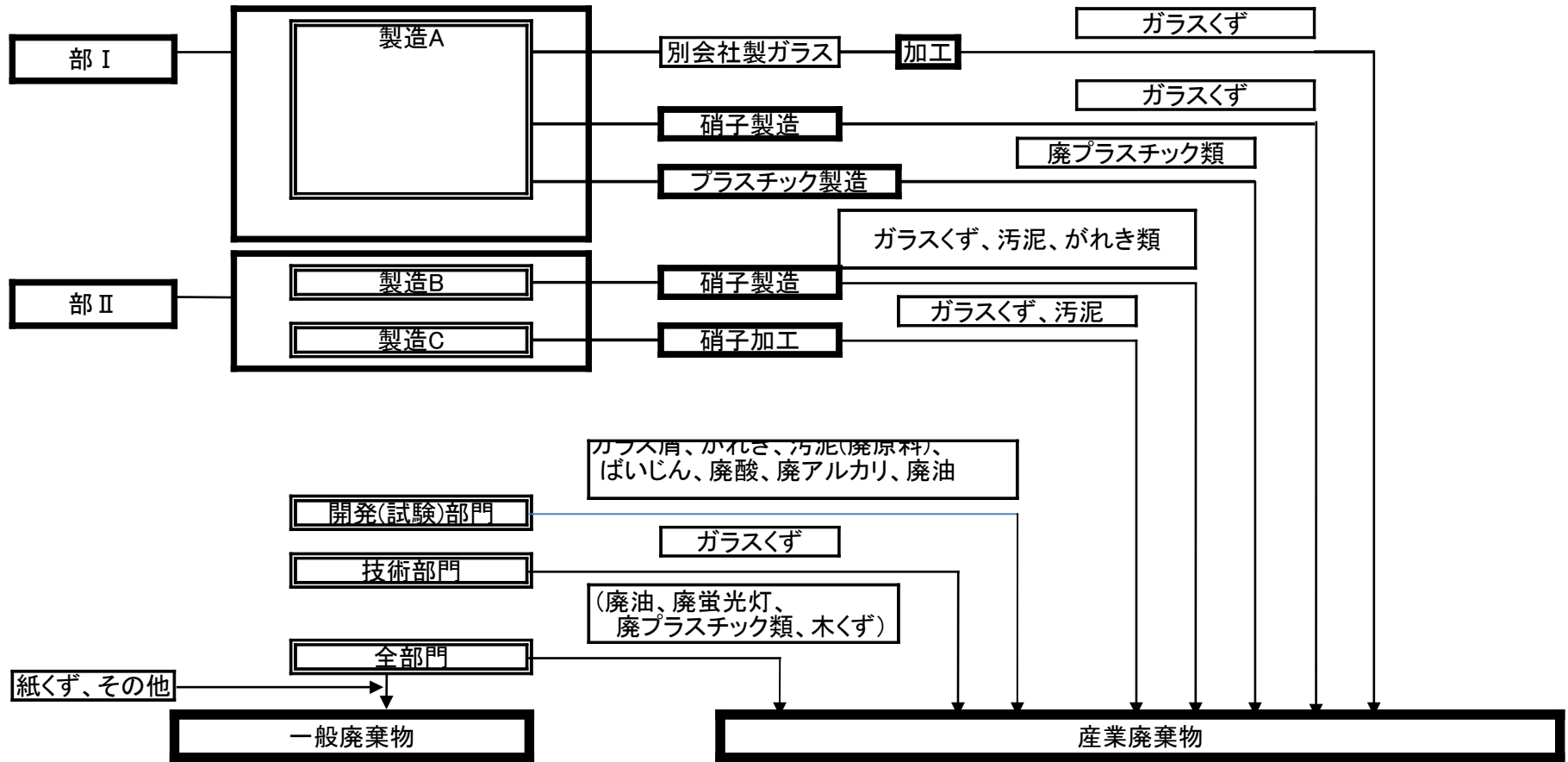
電話番号 0548-32-1211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	AGCテクノグラス株式会社 本社工場
事業場の所在地	静岡県榛原郡吉田町川尻3583番地の5
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	窯業・土石製品製造業 ガラス・同製品製造業 ガラス製加工素材製造業 [2113]
②事業の規模	33,066百万円
③従業員数	400名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1. 参照

（日本産業規格 A列4番）

別紙1. 廃棄物発生工程図

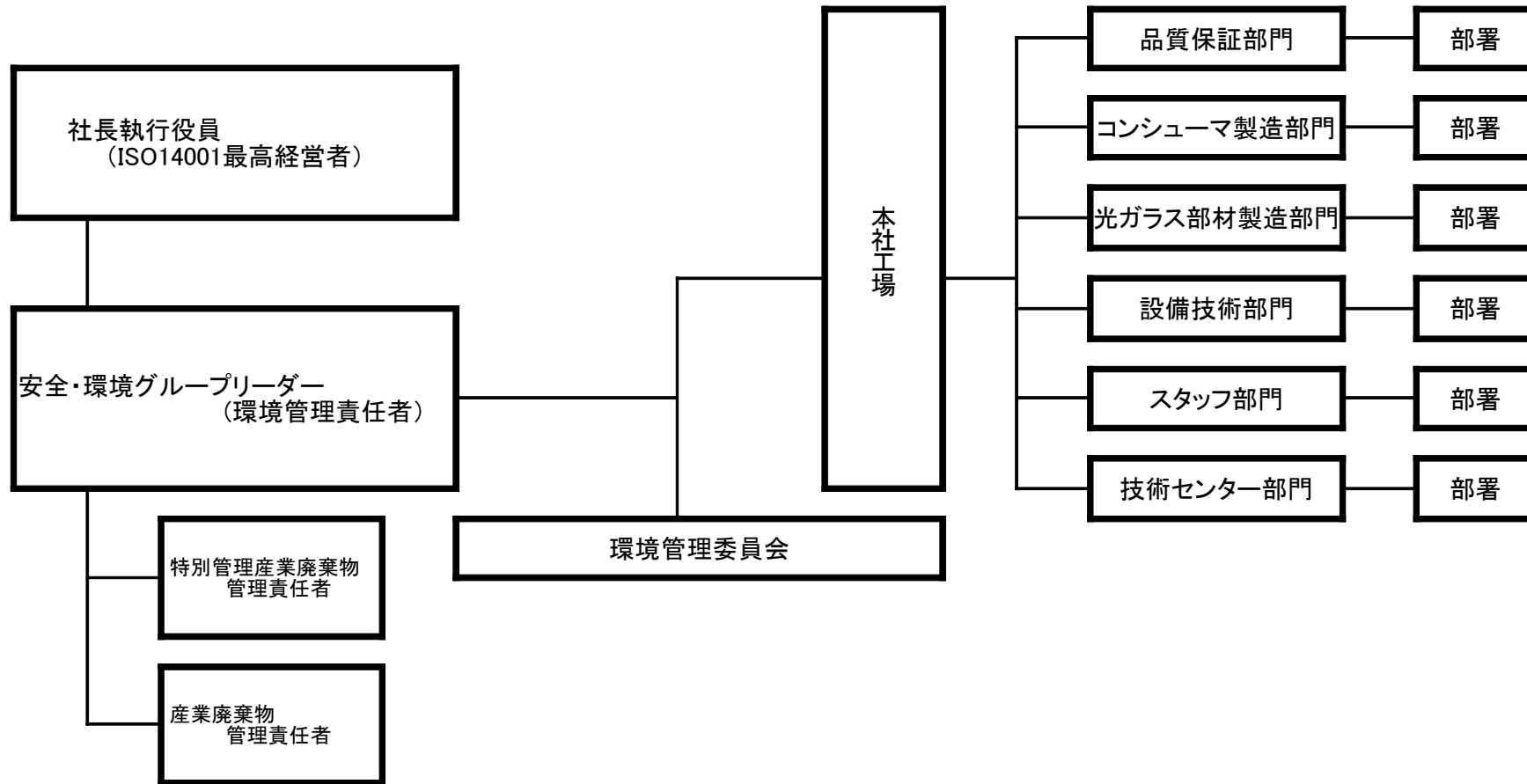


産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙2. 参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和 3年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3. 参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 1. 社内掲示、3R推進月間を通じた啓発活動【全般】 2. 分別強化での有価化推進【廃プラスチック類】 3. リサイクルステーションの分別状況評価による分別、特に有価品分別強化指摘【廃プラ、有価品】 4. 汚泥の発生元である研磨スラリーの延命化による発生抑制 5. 木製パレットの再使用(他社へ売却)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3. 参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 1. 社内掲示、3R推進月間を通じた啓発活動【全般】 2. 分別強化での有価化推進【廃プラスチック類、他】 3. リサイクルステーションの分別状況評価による分別、特に有価品分別強化指摘【廃プラ、有価品】 4. プラスチック品の小ロット単位販売による検査抜取ロットの製品化		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 収集・回収場所での分別指摘対応 2. 写真などを用いた分別簡易表示 3. 有価化可能な不要物の分別の周知【プラスチック】
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 社内掲示強化による異物混入防止 2. 分別教育の動画化

別紙 2 環境管理組織体系図



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組）			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3. 参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
1. 最終処分が再生利用である業者の選定 【全廃棄物】 2. 近隣で処分可能な業者を選定し費用削減 【全廃棄物】			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3. 参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 1. コンプライアンスを重視しエコアクション21取得企業や 優良認定企業を活用【全廃棄物】 2. 最終処分が埋立処分の廃棄物を再生利用業者への転換【ガラス屑】 3. EDIシステムを通じた適正処分の確認【全廃棄物】		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。